

水の大切さとは

森田 歩佳

小郡市立のぞみが丘小学校

七月十九日の月曜日、わたしは宝満川浄化センターの方に話をうかがいました。今年は、コロナで見学に行けなかったので、Zoomで話をうかがいました。

最初に、水の大切さについて教えてもらいました。私たちをふくめて生きものは水がないと生きていけないということ、私たちの体の60%は水でできているということを知りました。その水は体内のよごれをあらわってくれます。また、地球の70%は水でできっており「水の星」と言われています。

海や川の水のうちそのまま飲める水は0.01%だけです。そのため、浄水場で水をきれいにして私たちの家庭に運ばれます。家庭で使われた水は下水処理場に運ばれてきれいにされた後、また川や海に流されます。そして、水がじょうはつし雲になり、やがて雨になってわたしたちの元に戻ってきます。このことを「水の循環」といいます。

次に、下水処理場の働きについてくわしく教えてもらいました。まず、家庭で使った水が下水道管を通って下水処理場にたどり着きます。初めに沈砂池で大きなごみや砂などを取りのぞきます。次に、最初沈でん池で細かい汚れをゆっくりしずめます。その後に、反応タンクで微生物たちにすく小さな汚れを食べてもらいます。それから、最終沈でん池で反応タンクで汚れを食べて重くなった微生物たちを沈ませます。最後に、消毒設備で消毒した後、川や海などに流され

ます。家での食べのこしや油などをそのまま流すと通ってくる下水管にこびりついて固まり、水が流れにくくなったりします。なので、お皿の汚れをふきとってからあらう流すことは、小さいことだけれど大事だと思いました。

もし、下水処理場がなかったら、川や海が汚れてきつといやなおいがしています。海や川の魚などの生物にもえいきょうがあるかもしれません。なので下水処理場はわたしたちが清潔な環境で健康に過ごすためにとっても大切な役割をしているんだなと思いました。

では海や川をよごさないためにわたしたちにできることは何でしょうか？たとえば、海や川にごみをすてないことです。さいきは川などにすてられたごみを魚が食べて死んでしまうという悲しい事けんが起こっています。だから、小さなことでも行動することでおわたしたちや他の生き物が気持ちよく生活できる環境につながるのではないかと思います。